

# その原因！寄生虫かも？

元気な観賞魚が、  
なぜか体調を崩す…  
こんな体験  
ありませんか？

- 飼育はじめの2週間
- 季節の変わり目(春・秋)
- 突然おこる体調不良など

ダクチロギルス、  
ギロダクチルス、(※)  
白点虫、ウーディニウム  
の寄生を確認  
これが原因かも???

(※以下、「ダクチロ」「ギロダク」という)



## ダクチロ、ギロダクとは？

川や池、水槽などいたるところに生息しており、「メダカ、金魚、錦鯉、熱帯魚など」色んな観賞魚に寄生して、表皮や粘膜を食べるんだ。  
移動や過密飼育、水質悪化など魚にストレスがかかると増殖しやすいよ。  
特に稚魚や小型魚は致命的なダメージを受けやすいので注意してね。



※写真のメダカは水カビ病を併発しています。

固着盤 (フックを魚体に食い込ませる)

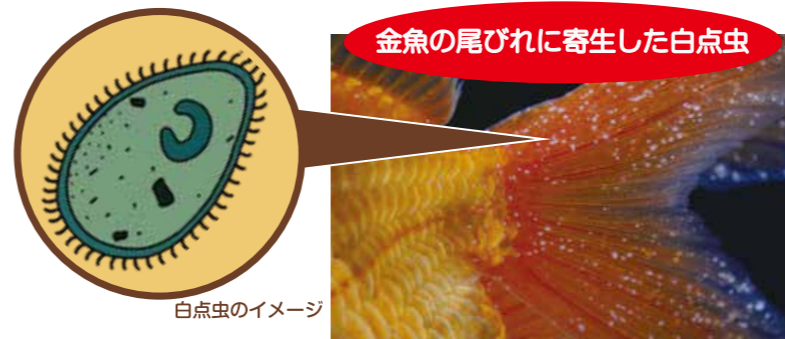
	発生しやすい時期	大きさ (mm)	寄生場所
ダクチロ	春から夏	0.8~2.0	主にエラ
ギロダク	秋から春	0.3~0.8	主に体表・ヒレ

初期症状は体表やウロコに白いモヤモヤが現れ、エラは白色に変色するんだ。  
寄生虫が小さく発見しにくいので初期対応が遅れやすく、重症になると魚は泳がなくなり、死亡率が高くなるよ。  
また傷口から水カビ病や尾ぐされ病など別の病気が感染しやすくなるので注意しよう。

# その原因！寄生虫かも？

## 白点病とは？

繊毛虫 (せんもうちゅう) の一種である「白点虫」が魚に寄生することで発症する病気で、白点虫は魚の体表やヒレ、エラの皮膚に入り込んで、体液や細胞を栄養にして成長するんだ。  
感染初期は白い点が見えなくても、魚が石や底砂、水草などに体をこすりつけたり、体を小刻みに震わせたりする行動で感染がわかる場合があるよ。  
病気が進行すると、ヒレや体に塩をまぶしたようなハッキリとした白い点が見えるよ。

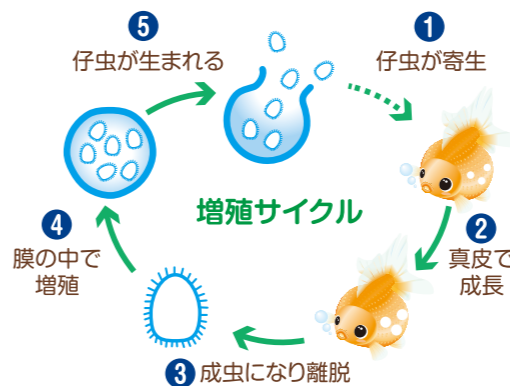


白点虫のイメージ

## 白点虫の生活史

- ① 仔虫が魚に寄生
- ② 真皮に侵入して成長
- ③ 成虫になり離脱
- ④ 強い膜をつくり、その中で増殖
- ⑤ 仔虫が生まれる

①から⑤のサイクルを繰り返すよ。一般的な薬で退治できるのは①と⑤の間の仔虫が生まれてから寄生するまでの間だけなんだ。



## コショウ病(ウーディニウム病)とは？

鞭毛虫 (べんもうちゅう) の一種であるウーディニウムが魚に寄生することで発症する病気で、ウーディニウムは魚の体表、エラにくっついて栄養を吸い取るんだ。  
感染初期は細かい点が見えなくても、ヒレをたたんでじっとしていたり、水面で苦しうように口をパクパクさせたり、体をこすりつけたりすることで感染がわかる場合があるよ。  
病気が進行すると、ヒレや体にコショウをふりかけたような白色の細かい点がたくさん現れるよ。



ヒレに寄生している様子

	発生しやすい時期	大きさ (mm)	寄生場所
白点病	春先 / 梅雨 / 秋口	0.5mm~1.0mm	体表 / ヒレ / エラ
コショウ病	梅雨 / 秋口	20μm~40μm	体表 / ヒレ / エラ

Hikari Aquatic Lab 山崎研究所

世界で初めての商品を開発することを目指して、観賞魚と飼料の関係を科学的に検証し続けています。

詳細はこちら